

R I 第 2820 地区

THE WEEKLY REPORT

水海道ロータークラブ



SERVICE Above Self

2005-06 年度 国際ローター会長
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

本年度クラブテーマ

ENJOY ROTARY

例会予定

11月16日

外部卓話 中島康夫様

11月23日

法定休会

11月30日

外部卓話 仲津真治様(取手RC)

12月7日

前期委員会事業報告

11月はローター財団月間です

VOL. 43 No.18 (通算No.2058)

2005年11月9日(水)例会プログラム

点鐘

ローターソング・四つのテスト

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸報告

幹事報告

会長挨拶

卓話

国際交流友の会 荒井文江様



2005～2006年度

会長 青木 清人

幹事 熊谷 昇

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30～13:30

0297-22-1251

事務所

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://kinuyou.com/rc/>

本例会でのおもな事項

* 会長挨拶

* 月間に因んで

北村 仁ロータリー財団総括委員長

誕生祝



会員 青木正弘会員 中川莞爾会員 草間春正会員 長塚 暁会員 関根 淳会員
北村英明会員

配偶者 隅屋会員 中川会員 登坂会員 瀬戸会員

諸報告

米山奨学会 (秋田政夫副委員長)

特別寄付、普通寄付を併せて1,352,000円になりました。地区一人当たり2万円を達成する事もでき、また8名の功労者を出す事が出来ました。領収証は来年の2月頃になる予定です。ご協力有難うございました。

社会奉仕委員会(染谷秀雄委員長)

赤い羽根募金は先月で終了し、社会福祉協議会へ5万円届けてきました。1クラブ1プロジェクトの事業であります、国際交流友の会へのバザー展に45品集まりました。3日の文化祭には是非お顔を出していただければと思います。ご協力有難うございました。

幹事報告 (熊谷 昇幹事)

週報受理 なし

例会変更通知受理 なし

会長挨拶 (青木清人会長)

皆さん、こんにちは。

今月はロータリー財団月間です。先月の米山月間に続き寄付をお願いすることになり誠に恐縮ですが、ロータリー財団とは何か、財団を支援する事の意義は何かをしっかりと理解して頂きたいと思います。そして、理解したうえで浄財の寄付を行って頂きたいと思います。ロータリー財団なくしてロータリーなしとされています。今日は地区のロータリー財団総括委員長でもある北村 仁会員に解説お願い致します。

さて、明日は文化の日。晴天になります? 市内で色々な展示やイベントが繰り広げられます。是非ご夫婦で散策してください。文化祭の推奨散策コースとしては、

市役所広場のバザー(国際交流友の会) 菊花展 糺屋で新そば 旧つくば銀行での青い目の人形展(アクト21) 商工会館での展示物(小中学生の書道、絵画) 水海道ロータリークラブ情報館 上がり次に、CLP(クラブリーダーシッププラン)について、FAXでご案内申し上げましたが、CLPは少人数クラブの活性化のための妙案ではありますが、地区、他クラブとの整合性も考え、本日の理事会でクラブとしての方向性について検討してみたいと思います。次年度の委員会編成にかかわる事でもあり、十分かつ早



急に結論を出して行きたいと考えています。

月間に因んで

ロータリー財団 齋藤広巳委員長

今月はロータリー財団月間で、本日多くの方よりたくさんの寄付を頂きました。1人130ドルと本日を併せて1万ドルの目標を越すことが出来ました。ありがとうございます。寄付はまだ受け付けておりますので宜しくお願い致します。

北村 仁ロータリー財団総括委員長



本日は、ロータリー財団月間に因んで卓話を、と言う事で例会にお招きいただき有難うございます。常日頃は財団の活動について水海道クラブさんには大変なご協力を頂き、既に目標額の130ドルを達成された事に感謝申し上げます。然しながら、皆さんの中には、未だロータリーに金を取られるという感覚が無きにしもあらずと言う事があると思います。これを解消するために、先ずロータリーの活動を理解していただく事が第一であります、ロータリーは大変多くの奉仕プログラムを行っております、次にその活動に参加して頂く事です、その上で、活動するための資金を、ということになります。

そこで、ロータリー財団の使命は何かと申しますと、【地域レベル、全国レベル、国際レベルの人的、教育的、文化交流プログラムを通じてロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援する】ことであります。地域社会や国際社会への奉仕を更に強化し増大していく為には奉仕活動の充実、資金面での援助が大変重要となります。

ロータリー財団の歴史は1917年、アーチ・クラフ第6代RI会長の「クラブが今後多くのことが出来るよう、緊急基金を築く必要がある」の提唱を受け、カンザスシティで開かれた大会において、ホストクラブの余剰金26.5ドルを【ロータリー基金】として立ち上げに使われた事が国際ロータリーのロータリー財団として知られる組織の最初の種であり、1928年にロータリー財団と名付けられ、今や年寄付総額130百万ドルを超える基金に成長したのです。

さて、地区の財団活動について少しお話したいと思います。

先ず、地区財団委員会の活動は社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、新世代奉仕委員会等の活動に深いかわりを持ってあります。この事から当地区と致しましては「地区補助金委員会」「国際親善奨学金財団学友委員会」「研究グループ交換委員会」「年次寄付恒久基金委員会」「100周年記念ポリオ委員会」の五つの小委員会を設けてクラブの皆様のロータリー活動のお手伝いをする事と致しました。

地区補助金に関しましては、DDFの20%を使用する事が出来ますので、社会奉仕委員会と連携を持ちながらクラブの皆様の地域に於ける社会奉仕活動にお使いを頂きました。限られた財源の中ですので、皆様のご要望全てにお答えできませんでしたが、ロータリーを身近に感じ、ロータリーを広報する意味でも大いに役立ったのではないかと思います。

国際親善奨学金、財団学友委員会は、4名の奨学生を決定致しました。応募された学生は大変優秀な方々ですので、未来の緒方貞子さんを目指してオリエンテーションを開始し、各自目的の国、学校に向けて努力をしております。また学友と共にライラなどに参加を呼びかけ、新世代への協力もお願いしております。

研究グループ交換は、トルコとの受入、派遣を行う事となり、昨年に引き続き英語圏でない国との交換となり、各クラブからご推薦いただいた中から大変困難な選定作業でしたが、4名の方を選定致しました。現在派遣に向けてオリエンテーション、その他準備中であります。先方からは当地区の地区大会に併せて来日が予定されており、8分区の皆さんにホストをお願いする事になっております。その節は宜しくお願いを致します。

ポリオにつきましては、当地区は皆様のご協力によりかなり高い成績を収める事が出来ました。ロータリー

100周年を記念しての撲滅宣言は出せませんでした。WHOに協力して努力していくとのことです。特にポリオプラスパートナーは継続中ですので、宜しくお願いをしたいと思います。

最後にシェアシステムについてお話致します。シェアは文字通り分かち合う、共有するという事で、年間の寄付金を国際財団活動資金(WF)と地区財団活動資金(DDF)に分け合う事です。WFにはGSE補助金、3H補助金、個人向け補助金、マッチング・グラントがあります。DDF(District Designated Fund)は地区が用途決定に発言権を持っており、寄付年度の3年後に、GSE、国際親善奨学金、地区補助金等に使われます。こうして皆様の貴重なご寄付は全て極めて有効に使われて居ることをお話ししたいと思います。寄付の額が減少致しますと今までお話しました地区補助金、財団奨学生を始めマッチング・グラントを通しての国際奉仕等DDFに関する多くのプログラムを遂行する事が困難になります。優秀な若人を援助し、地域社会に、世界平和へ貢献する事が出来なくなります。

やや明るさが見えてきたとは言え、厳しい経済環境の中にあります。国際ロータリーとロータリー財団の活動にご理解を頂き、財団活動への参加と募金活動にご協力、ご支援下さいませお願い致します。御清聴有難うございました。

出席報告 (白井 豊委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜 暇	メーク
50名	34名	16名	0名	2名

出席率 72.00%

ニコニコボックス (石塚克己SAA)

- ◆ 誕生祝御礼 会員 中川・長塚・草間・青木(正)・関根・北村(英) 各会員
配偶者 隅屋・中川・登坂・瀬戸 各会員
- ◆ 隅屋会員に褒められました。 北村(仁)会員
- ◆ 明日は文化の日、市内の文化祭、散策しましょう。 青木(清)会員
- ◆ 寒くなったので風邪などひかぬよう、皆様のご健康をお祈りします。 熊谷会員
- ◆ 11月9日はおとり様です。熊手を買って運をかき集めましょう。 青木(正)会員
- ◆ 11月は、財団月間です。宜しくお願いします。また、北村総括委員長、卓話宜しくお願いします。
齋藤会員
- ◆ 今月は、財団月間です。宜しくお願いします。 大串会員
- ◆ 先月は米山奨学月間に際し、ご協力有難うございました。 秋田会員
- ◆ 米山功労賞の通知を頂きました。 武藤会員
- ◆ その他 横山会員
- ◆ 朝夕めっきり寒くなりました。お体に気を付けてニコニコBOXへのご協力お願いします。
鈴木(豊)会員
- ◆ 家の裏に柚子がたくさん実を結びました。年末年始を感じました。 石塚(克)会員
- ◆ 例会欠席しました。 小島・古谷・草間・倉持 各会員

入金計 ¥78,000 累計 ¥991,000

ロータリー情報委員会より 一口メモ

ロータリー財団の始まり:1917年RI会長のアーチ・クランフがロータリー基金を提唱したが、その最初の寄付金は、26ドル50セントであった。その後「ロータリー財団」が1928年に正式に認証され、次第に寄付額も増加して、現在では毎年6,500万ドルを受領している。

会報委員会 委員長 横山 修 副委員長 山野井周一 委員 根本恒夫